

体系のイメージ

中間とりまとめで示された内容

将来像

住まうなら大阪！
 ～たくさん、多様な人々が住まい、訪れる“居住魅力満載都市”の実現～

政策の基本目標

活力と魅力あふれる
住まいと都市の実現

安全・安心に過ごすことができる
住まいと都市の実現

大阪の魅力を活かした
定住人口の増加

多様な人々が住まい、
交流し、つながる

環境に配慮

防災・防犯面での
安全性の確保

安心居住の実現
人権の尊重

今後重点議論

施策の方向性

施策の進捗状況評価を踏まえ、新たな施策の方向性について議論。

将来像別の施策の方向性

現MPの市街地タイプ別の施策の進捗状況評価及びビジョンで示された「大阪に住まう将来イメージ」を踏まえ、住まう像を実現できる場所や実現していくべき場所等について議論を行い、将来像別の施策の方向性を提示。

※現MPでは、市街地タイプ別として「計画的市街地（ニュータウン）」、「密集市街地」など6タイプを例示し、それぞれ施策の方向性を提示。

将来像設定の考え方

- 「住まう」ことは、人々のくらし・あらゆる活動の原点
- 人々が「住まう」ことで、都市の活力が生まれる。

政策の方向性・視点

「活力・魅力」と「安全・安心」の好循環

⇒「活力・魅力」をより一層展開

- 住宅だけでなく、都市全体の魅力を高める
- 住宅確保要配慮者だけでなく、大阪を担う多様な人々も対象に
- 行政主導ではなく、府民一人ひとりが意識高く…

施策の展開方針

民間の取組みを重視

ストックの活用を重視

政策連携を重視

大阪に住まう将来イメージ

大都市・大阪の圧倒的な魅力を・・・

農山漁村で豊かな自然を満喫して・・・

など10の住まう像

大阪における今後の住宅まちづくり政策のあり方(答申(素案))の構成 (案)

「住まうビジョン・大阪」(審議会中間とりまとめ)の構成

0. はじめに (「住まう」、「住まい」、「都市」の定義、課題認識、今後の政策の方向性など)
1. めざすべき将来像
- 住まうなら大阪!**
～たくさん、多様な人々が住まい、訪れる“居住魅力満載都市”の実現～
2. 住宅まちづくり政策の基本目標
- 活力と魅力あふれる
住まいと都市の実現
安全・安心に過ごすことができる
住まいと都市の実現
3. 住宅まちづくり政策の方向性・視点
- 「活力・魅力の創出」と「安全・安心の確保」の好循環を生み出す政策を展開
⇒「安全・安心の確保」の取組みの継承・発展はもちろんのこと、
「活力・魅力を創出」する取組みをより一層展開
- 【視点】・住まいの魅力だけでなく、都市全体の居住魅力を高める。
・多様な人々が豊かさを実感できる大阪を実現する。
・府民一人ひとりが自分らしい住まい方「住まうビジョン」を描き、実現する。
4. 「大阪に住まう」将来イメージ
- ・大都市・大阪の圧倒的な魅力を楽しみながら住まう
 - ・大都市の魅力を楽しみつつ、落ち着いた住環境で住まう
 - ・働く・学ぶ・遊ぶ場充実、子どもいきいき、子育てを楽しみながら住まう
 - ・……など計10の住まう像
5. 住宅まちづくり施策の展開方針
- 民間による主体的・主導的な取組みを重視
- ストックの活用を重視
- 政策連携を重視
6. 主な施策・取組みの例
- ・民間主導による大阪の再生(「グランドデザイン・大阪」の推進)
 - ・空家など遊休不動産を活用した居住魅力の向上……など

答申(素案)の構成(案)

0. はじめに (「住まう」、「住まい」、「都市」の定義、課題認識住宅まちづくりの使命、今後の政策の方向性など)
1. 大阪の住まいと都市を取り巻く状況と課題認識
- 社会経済の情勢(人口動態、財政状況、雇用情勢、企業流出、地域活力の低下の懸念、人口の将来展望)
 - 住まい、都市のストックの課題(一定水準を満たさないストックの存在、空家の増加、都市の安全性、景観、みどり)
 - 府民の居住の安定確保に向けた課題(住宅困窮者の多様化、公営住宅制度の課題、民間賃貸住宅市場の課題)
 - 民間住宅市場の課題(持家住宅市場の課題、建設産業の課題) など
2. 基本的な方針
- めざすべき将来像と基本目標、政策展開の方向性
- ▶【将来像】
- 住まうなら大阪!**～たくさん、多様な人々が住まい、訪れる“居住魅力満載都市”の実現～
- ▶【基本目標】
- 活力と魅力あふれる
住まいと都市の実現
安全・安心に過ごすことができる
住まいと都市の実現
- ▶【政策展開の方向性】
- 「活力・魅力の創出」と「安全・安心の確保」の好循環を生み出す政策を展開
- 施策の構築・推進の展開方針
- 民間による主体的・主導的な取組みを重視
ストックの活用を重視
政策連携を重視
3. 基本目標の実現に向けた施策の方向性
- 施策の進捗状況評価を踏まえ、新たな施策の方向性(定住人口の増加策、活力・魅力の新たな取組み、好循環を生み出す施策等)について議論。
4. 将来像別の施策の展開方向
- 施策の進捗状況評価及び「大阪に住まう将来イメージ」を踏まえ、将来像の提示方法、施策の方向性について議論。
5. 実行性を持った計画の推進に向けて